



「はしだて」は災害派遣時における救難、医療、輸送や国内外の賓客を招いての式典、会議、会食等に用いられる多目的な艇であり新潟県への入港は初めてでした。

新潟西港には、珍しい特務艇を楽しみに親子連れ等が2日間で1027名訪れました。特別公開60名の募集対象者らは、乗組員から東日本大震災などで活躍した野外ベッド等の装備品についての説明を受けた後、艦内を見学し記念撮影するなどして楽しみ、また特務艇ならではの特殊な任務に関心を示すなど、海上自衛隊の魅力がPRすることができました。



新潟地本は岸壁に制服試着コーナーや恒例のスタンプラリーなどの広報ブースを設置するとともに、新潟地本のキャラクターである「ヒカリン・マモル、マイ」も登場し艦上で多くの来場者と記念撮影を行う等、広報ブースも大いに賑わいました。



新潟地本は、今後も艦艇広報を通じて、海上自衛隊への更なる理解を得るとともに、県内各地から未来の自衛官候補者の発掘に心がけ、自衛隊を積極的にPRしていきます。